



Weekly Report

Rotary
福島中央RC



福島中央ロータリークラブ会報

事務局 〒960-8051 福島市曾根田町4-22 TEL:024-526-7211 FAX:024-526-7212
E-mail:info@fukushimachuo-rc.com http:fukushimachuo-rc.com/

会長あいさつ

2024-25年度会長 佐藤 信雄



本日は、2024-25年度国際ロータリー2530地区ガバナーの早川敬介様、地区副幹事の佐藤文雄様、県北第一分区ガバナー補佐の阿部正美様、県北第一分区幹事の野崎正広様をお迎えしてのガバナー公式訪問例会です。早川ガバナーはじめ皆様方、ご指導のほどよろしくお願いします。

本日9時30分から会長幹事懇談会を開催し、ガバナー方針などをお伺いし、また福島中央ロータリークラブの今年度の方針・行事予定・当クラブの抱える諸問題についてお話申し上げ、ガバナーからのご意見を頂戴いたしました。引き続き10時30分からはクラブ協議会を開催し、2530地区早川ガバナー及び阿部正美第一分区ガバナー補佐からご挨拶をいただいた後、当クラブ各委員会委員長からの年次計画の発表後に、それぞれにご指導いただきました。誠にありがとうございました。この例会に於いて後ほどガバナースピーチを頂きます。当クラブ会員皆々に、早川ガバナーから直にお話をいただき当クラブの運営に資していきたいと思っております。まず、先週行われました「ガバナー歓迎晩さん会」に多くの皆様の参加をいただき感謝申し上げます。

さて、私の今年度の目標は、7月3日例会の会長挨拶で申し上げましたが、詳しくは本日お手元にお届けしました「年次計画書」をご覧ください。私の目標の根底にあるのは、早川ガバナーが掲げる「世界で良いことをしよう」「地域で良いことをしよう」そして「ロータリーを楽しもう」のスローガンにあります。私は入会后、まもなく8年になりますが、その大半は不真面目な会員でありました。数年前にRLIに誘われ、コロナ下でZoomでの開催で参加しやすかったこともあり出席いたしました。RLIに参加して衝撃を覚えました。例えばロータリー財団や米山記念奨学会への寄付についても、以前からユニセフのマンスリー会員になっており月々それなりの金額を寄付してきましたので、ロータリーの方はしなくても良いだろうなどと勝手に解釈しておりました。ロータリーの趣旨はユニセフとは別のところにありこれではいけないと感じました。RLIに参加されていない方は、ぜひ参加されたいことをお勧めいたします。

私の目標の中の一つに、卓話の充実を掲げました。会員の方はその職業を通してのエキスパートが多くいらっしゃいます。又は外部の識者の方をお招きしての卓話を充実させたいと考えております。例えば、年金やニーサやiDeCo(イデコ)・最近感染拡大の兆しがあるコロナや感染症・近年注目されている電気自動車やハイブリットカー・ごみ問題とその分別など。ロータリーにこだわらずに多くの会員の方々から卓話をいただきたいと思います。メーカーですが、先輩会員の方は積極的になさっている方が多くいらっしゃいますが、会員歴の浅い方はそのハードルが高く感じている方もいらっしゃると思いますので、参加者を募ってのメーカーを行い地区内外のクラブへのメーカーを行い、その感激や刺激を感じていきたいと思っております。ただ今申し上げましたのは、私の思い付きの一例ですが、早川ガバナーのスローガンに沿った当クラブの運営を行い、「当クラブに入会してよかった、例会に出席してよかった、クラブを楽しめた。」と感じていただけることを旨として参りますので、皆様のアドバイスを賜りたいと思っております。

当クラブは、2名のガバナーを輩出した名誉あるクラブであり、私はそのクラブの会長を務める器でないことは重々承知しております。ロータリーのコトバ使いや気づきの足りない点をご指摘・アドバイスを重ねてお願い申し上げます。

2024年7月24日(水)

第4回(通算1591回)

ウェディング エルティ

「ガバナー公式訪問・ ガバナー補佐訪問例会」

例会次第

- 9:30～ 会長・幹事懇談会
- 10:30～ クラブ協議会
- ◆開会点鐘 佐藤 信雄会長
- ◆ロータリーソング「日も風も星も」
ソングリーダー 坂本 和司会員
- ◆四つのテスト唱和
職業奉仕委員会 佐藤 龍史委員長
- ◆お客様/来訪ロータリアンの紹介
 - ・国際ロータリー第 2530地区
2024-25年度
ガバナー 早川 敬介 様
 - ・県北第一分区ガバナー補佐
阿部 正美 様
 - ・国際ロータリー第 2530地区
2024-25年度
地区副幹事 佐藤 文雄 様
 - ・県北第一分区幹事
野崎 正広 様
 - ・東邦銀行方木田支店 支店長
佐々木 臣樹新会員
- ◆新会員入会式
- ◆新会員へガバナーより
ロータリーバッジの贈呈
 - ・石橋 真一会員
 - ・佐々木 臣樹会員
- ◆カウンセラー委嘱状の交付
 - ・石橋会員カウンセラー
矢野 宏行会員
 - ・佐々木会員カウンセラー
箭内 一典会員
- ◆会長あいさつ 佐藤 信雄会長
- ◆お食事をどうぞ
- ◆幹事報告 多田 憲司幹事
- ◆各委員会報告
 - ・ニコニコBOX委員会報告
植木 博隆委員
- ◆ガバナースピーチ
国際ロータリー第 2530地区
2024-25年度 ガバナー
早川 敬介 様
- ◆閉会点鐘 佐藤 信雄会長
- ◆記念撮影



早川 敬介ガバナー スピーチ

公式訪問に際し、先ず自己紹介をさせていただきます。文書での紹介にはない部分を話させていただきます。

先ず、ロータリーとの出会いは、RI D253 1983-84年度パストガバナーであります福島RCの「田中善六」さんです。私の父と陸軍士官学校同期の56期でした。その関係で自宅を訪ねてくださったおり、今取り組んでおられる仕事やロータリーの話熱く話されました。今の社会科の教科書からは外された言葉「公職追放」を受けた二人でどのような社会貢献をしているのかの話でした。＜ ※ 二本松市市長 故 大河内 鷹さんも同期 ＞

当時郡山市PTA連合会会長を受けていた私は傍で伺っていてとても感動し、秋の「市P連研究大会」に講演をお願いいたしました。その時から生き方の方向がロータリー活動に向かっていたように思います。

今話しましたが私の経歴にPTAがあり、日本PTA全国協議会 常務理事のときに提言した「中学生のインターンシップ事業」があります。

義務教育の目標は「職業を通した人生設計ができる人材の育成」にあるべきで、当時の成績だけを求める教育現場に異議を投げかけました。職業の目標を持てた生徒の成績は、目標に向かって急激に伸びます。成績だけが良く有名大学を出ても「何をしていったら良いのかを見つられないもの」も出現していた時代です。

当時郡山北RCより入会の勧誘をいただいておりますが、PTA活動が多忙であったためお断りをしていました。「どうしても」との勧誘を受け、「皆さん方の事業所が中学生のインターンシップ受入事業所として協力していただけるのなら」との条件をつけて入会いたしました。入会以降新世代奉仕委員長をこの「中学生のインターンシップ事業」が定着するまで続けました。

郡山市内北部の中学校5校を中心に発表会を公民館・市民交流センターや視聴覚センターをお借りし実施して来ました。校長先生方にも参加いただいたこともあり、各校の取り組みの視点に違いがあることも刺激になり、発表の内容が毎年向上していること。また、会員の経

歴や事業に取り組んできた経緯の発表を取り入れたことは、生徒たちへの刺激になっていたようです。

この「中学生のインターンシップ事業」にかかわられ、郡山市教育委員会へ異動された先生もおられ、10年目には、郡山市教育委員会と福島県教育委員会より推薦をいただき、平成24年1月26日「平成23年キャリア教育推進優良団体」として文部科学大臣表彰をいただいております。

このような社会貢献活動^{キッカケ}を続けてきたのには、もっと以前に契機があります。

まだまだ若い36歳のとき、子どもたちが「飛行機に乗りたい」と言うことでお盆前に家族旅行を企画しました。お馴染みの東京ディズニーランドで一日遊び、夕方羽田から大阪へ飛行機で行って一泊し、翌日新幹線から富士を見せるという企画です。

1985年8月12日JAL123便に予約を入れましたが、全員分の席が確保できずにキャンセルし、夕方には自宅に戻りました。

両親を含めて夕食を摂り、TVを点けてびっくりです。私たちが乗ろうと予約を入れていた飛行機が「御巣鷹の峰に墜落しているとのNews」です。身体に鳥肌が立ちました。

その時の言葉は今でも忘れません。どうしてこのような言葉が出たのかは不思議です。「私たちは生残されたんだ。亡くなった520名の方々のためにも社会貢献に頑張っていきたいと思う。

みんなの命も同じだと思う。命を大切にしていこう。」と小さな子どもたちにも言っていました。これが契機で、次の世代の方々が活動しやすい環境造りに貢献する提言をしてきましたが、本日のメインは、「ロータリーについて」の話になりますので、他に事例は省略させていただきます。

私が地区の委員会に所属するようになりましたのは、亡くなられた郡山西北RCの伊藤 浩さんが2011-12年度ガバナーエレクトのときからです。新世代奉仕委員会ライラ委員長を仰せつかり3年間務めました。当時カタカナで「ライラ」と言っておりましたが、意味ある言

葉ではないので英語での「RYLA」(Rotary Youth Leadership Awards)の頭文字に変更いただきました。

今年6月11-12日芳賀 裕実行委員長での「第16回全国RYLA研究会」では水野 功R理事エレクトのエイドを拝命し、勤めさせていただきましたこと、深い縁を感じました。

来年は、5月10-11日2710地区 広島 安芸グランドホテルでの開催になります。

皆さんのクラブからRYLA研修会に研修生とともに参加いただき、地域の若者をロータリーファミリーとして育てていただきますようお願いいたします。

また、伊藤 浩さんが2012-13年度ガバナーのときに、田中作治R会長には「来県されたとき「グローバル補助金でお世話になるのだから、会ってお話を伺っておきなさい。」と紹介をいただき、ご指導をいただきました。また、AKSの会合が東京であったときには、TRF-DRFCとして参加させていただきました。地区のロータリー財団には委員長を含め6年間お世話になりました。

できるだけ多くのクラブに地区補助金DDFを使っただけのよう、また年次基金「Oクラブ」を無くそうと呼びかけ補助金申請は、前年度32のクラブから申請が出され、「Oクラブ」はなんとか出さないで来れました。

ポリオプラスへの寄付「Oクラブ」が未だあります。「ポリオ根絶はもうそこまで来ています。」ぜひポリオ根絶のためにご寄付のご協力をお願いいたします。

また、一昨年より米山記念奨学会委員会の事業にもかかわり、つくば市での「再会in関東」に参加してきました。

出身国の先輩方も多数参加しており、自分の国の先輩方と話をしてきた奨学生が「奨学金をいただいているときだけではないんですね。卒業後もかかわって行きたいです。」と話しておりました。

また、奨学生の面接官としての経験から、学校推薦で多くの学生応募があります。日本と出身国との懸け橋になろう

との意識を持った学生たちです。多くを合格させたいと思いますが、地区からの寄付額により、優秀な応募者を切らさう得ません。米山記念奨学会への寄付増額にご協力をお願いしたいと思います。

また、5月10-12日山形県天童市での「ロータリー日本青少年交換研究会山形会議」に参加させていただきました。11日日本に来て8ヶ月の学生たち代表24名の「日本語スピーチコンテスト」がありました。あまりにも上手な日本語で目頭が熱くなりました。

来年は、6月6-8日2830地区 青森ホテル青森での開催になります。

私たち一人一人の寄付金が、大きく羽ばたいているプロジェクトに参加できた喜びを感じました。

当地区の公共イメージ・IT委員会主催の「マスコミ懇談会」が毎年開催されております。一昨年には他地区の方々も参加されました。

マスコミ側からロータリーへの提案が出されましたが、他地区の方々が「マスコミの方が、ロータリーを真剣に考えて提言してくださっていることに感動しました。」と言われました。

当地区には新聞社の支社の代表が会員なっております。ロータリーでの経験を通してご提言いただいていることがあると思います。指摘を受けるまでは気づかないでおりましたが、ロータリークラブの会員の構成が、多業種との交流となっている素晴らしいロータリーであるからこそその成果とも考えられます。

ガバナーエレクトの年度に招集する研修では、大変お世話になりました。

地区チーム研修セミナーDTTS
⇒「地区チーム・ラーニングセミナー」DTLS

会長エレクト研修セミナーPETS
⇒「会長エレクト・ラーニングセミナー」PELS

地区研修・協議会DTA ⇒「地区ラーニング協議会」DLA

実施以降に名称変更がなされておりますが、国際ロータリーの理事会での決定が未だの件もあり、決まり次第紹介してまいります。

「アクションプランチャンピオン」は、「行動計画推進リーダー」に表記することに決定したと水野功R理事からの2024.7.11.14:47のメールにありました。

私の所属する郡山北RCは、前年度創立50周年を迎えた、会員42名のクラブです。ホストクラブとして単独で全て

の企画運営には困難があり、先に実施しました「地区研修・協議会」の際には、駐車場に停車できずに帰宅された方がいらっしゃったことを伺いました。大変申し訳なかったと思います。今後そのようなことが起こらないようにするために、中央分区のコ・ホストクラブの皆さん方の協力無しには行えません。また、地区の皆様方の自主的で積極的な参加と協力無しにはなし得ない多くの課題を乗り越えて行かねばなりません。ご理解の程よろしくをお願いいたします。

特に本年度が最後になるかもしれないと言われておりますのが、「Rテーマ」です。1年毎にあったテーマが、本当に達成されたのか？という意味があり、2023年12月30日水野 功R理事エレクトからのメールに「3-year Rolling Targets & Regional Plans 3年間の目標と地域計画」というメールが届きました。

もくと
3年を目途として毎年見直ししながらロータリーの活性化を勧めて行くことです。

1月の「国際協議会」での解説は、Action Plan 行動計画の推進でした。帰国後には4月18-19日の「クラブ活性化セミナー」で詳細な説明があり、7月にスタートするために6月中には入力するよう要請がありました。

ガバナー補佐予定者の方々には資料をお送りし区内の次期会長への伝達をお願いし、やっと5月19日の「地区研修・協議会」を迎えました。これは「3-year Rolling Goals」の表記になりましたが、会長だけでなく3年後のビジョン作成に関わることから、クラブの「戦略計画委員会」にも関わっていただき、また、提出資料には過去3年間の資料の入力もあることから事務方の協力も必要になります。6月15日の「事務担当者

セミナー」においてお願いしました。

先程申し上げましたように、会長エレクトとしての研修は終えておりますが、私の関心は各クラブにおいて十分な準備がなされているかです。

会員増強についてもZone-1Aの目標はZone-1です。私たちの意見がRI理事会で反映するよう目標を定めました。そのためには退会防止と会員増強になりますが、会員自身の活動が楽しいことが一番だと思います。

地区ラーニング委員会にガバナー補佐の経験者と大委員長とで構成いただきました。各委員会がセミナーを開催してきましたが、回数により会員数の小規模クラブでは、委員会を持てていません。会長・幹事に出席がしわ寄せしてしまっておりました。

地区委員会が共催や午前と午後で開催とか なんとか工夫ができないものかを検討いただいております。

いよいよ新しい年度のスターになります。皆様方の企業のようにとは申せませんが、「近未来3年後のクラブの姿を描いて、目指して行く。」これまでにはなかった取り組みになります。

「クラブを活性し、会員のお一人お一人が、所属していて良かった、人生が豊かになったと実感していただけるクラブ造りに取り組んでいただきたいと思います。取り組みのリーダーは会長ですが、会員の方々お一人お一人が主役です。皆さんが主体的に世界を変える行動人として活動してください。」

結果として、本年度1クラブの実質会員増強2名を達成してください。

3年後に地区名と同じ数2530名以上の会員になることを達成、そしてその数を維持できるよう お願いいたします。



結びに、本年度の地区大会には、先に話をした若者への初めての取り組みを行います。学友委員会の廣澤俊樹委員長ばかりでなく、ローターアクト委員会の渡辺浩子委員長、青少年奉仕委員会の増子博保委員長、米山記念奨学会委員会の吉田喜一委員長にお願いし、それぞれの所属する学友にお集まりいただき、福島県と関わる幅広い方々に「学友ナイト」を通して交流を、後輩の指導にも関わっていただけるようお願いし、さらに将来のロータリアンになっていただけるよう働きかけたいと思っております。

7日目のリーダー研修セミナーには、

「ロータリークラブに入ろう！」の著者で、第1地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐ARPIC、第2840地区2017-18年度ガバナーの「田中^{たなか}久夫^{ひさお}」高崎経済大学名誉教授に『クラブを活性化してロータリーを楽しもう！』と題して講演をお願いいたしました。全国各地で引っ張りだこの先生です。当地区の石黒秀司PDGも第1地域ARPICで、ご推薦をいただきました。

2日目の地区大会記念講演には、ワールドカップラグビーで活躍され郡山市フロンティア大使で、東芝ブルーパス東京アンバサダーに就任されておられます「大野^{おおの}均^{ひとし}」さんに『弱小

チームからワールドカップで勝つまで』と題して講演いただきます。

両講演が、皆様方のクラブの活性化に・そして会員増強につながることを大いに期待しております。

また、2日目には郡山ユラックス熱海から移動し、ホテル華の湯での「大懇親会」も企画しております。

地区内・外会員との交流を目玉にしております。飲酒運転にならないようお願いして参加を呼びかけますので、よろしくお願いいたします。

ご清聴いただき ありがとうございます。



早川 敬介ガバナー



阿部 正美
ガバナー補佐



佐藤 文雄
地区副幹事



野崎 正広
分区幹事





県北第一分区分会・県北第二分区分会合同
2024-25年度ガバナー歓迎晩餐会
2024年7月19日 ウェディング エルティにて



新会員へロータリーバッジ贈呈
石橋会員・早川ガバナー・佐々木会員



カウンセラー委嘱状の交付
箭内会員・佐藤会長・穴戸会員



新会員紹介

なおき

佐々木 臣樹会員

本日よりお世話になります東邦銀行方木田支店の佐々木と申します。前任店では、郡山安積ロータリークラブに所属しておりましたが、まだまだ勉強中でございます。前任の遠藤様にご指導よろしくお願いいたします。



本日の出席率

会員数	42名
出席者総数	27名
うち出席免除会員出席	3/5名
出席率	67.5%



2023-24年度表彰

優秀委員会賞
奉仕プロジェクト委員会



ガバナー公式訪問クラブ協議会



幹事報告 多田 憲司幹事

- 1) 次週7月31日は、先週の祝日の振替で休会となります。次回の例会は、来月8月7日(水)12:30～ウェディング エルティにて開催いたします。箭内会員より「会員増強セミナー」の報告をしていただきます。
- 2) 7月30日(火)18:00～益蔵にて、「7月度定例理事会」を開催いたします。理事・役員の方はご出席をお願いいたします。
- 3) 本日、閉会点鐘後に記念撮影を行いますので、そのまま会場にお残りください。速やかに撮影できるようご協力をお願いいたします。



ガバナー補佐 阿部正美 様

「1年間 お世話になります。」

佐藤信雄会長

「早川敬介ガバナー様、阿部正美ガバナー補佐様、佐藤文雄地区副幹事、野崎正広第一分区幹事様、本日は誠にありがとうございます。」

芳賀裕パストガバナー

「早川ガバナー公式訪問を歓迎して」

平井義郎パストガバナー

「早川ガバナー、ようこそお出でいただき、ご指導ありがとうございました。」

山田稔直前会長

「クラブ協議会でのご指導、ありがとうございました。」

穴戸宏行会員

「早川ガバナー公式訪問を歓迎して!」

石橋真一会員

「よろしくお願い致します。」

ニコニコBOX委員会報告 植木 博隆委員



安藤 正道	熊坂 友好	佐藤 龍史	
石橋 真一	小林 潤子	穴戸 宏行	
植木 博隆	斎藤 高紀	鈴木 努	
梅津 寿光	坂本 和司	多田 憲司	箭内 一典
大出 隆秀	佐藤 和子	西屋 明	山田 稔
鍛冶 輝雄	佐藤 信雄	芳賀 裕	渡部九二五郎
亀岡 政雄	佐藤 元彦	平井 義郎	渡邊 英世

目標 200万円

本日の投入額 28件 42,000円

累計 132,000円

